

“海辺の自然学校in須波” – 中国地方整備局広島港湾・空港事務所

平成24年3月18日（日）に三原市の須波海岸で“海辺の自然学校 in 須波”を実施しました。当日は、小雨のち曇りの残念な天気でしたが、31名の親子さんに参加頂き、楽しい自然学校となりました



<座学>

①豊かな瀬戸内

広島的气候、川や海の特徴、広島や三原の干拓の歴史などを勉強しました。

②水の循環と変化

水の循環について勉強したあと、沼田川、家庭排水、須波の海水を使った水質の比較実験をしました（写真①）。

③浅場の役割

浅場の種類とどのような役割を持っているか、また、海の生き物の食物連鎖についても勉強しました。

④瀬戸内海の環境を良くする取り組み

みなとと私たちの暮らしとの関わりとみなとの工事で発生する土砂を活用して、海の環境を良くする取り組みが実施されていることなどを勉強しました。

<フィールドワーク>

①カキの海水浄化実験

カキが植物プランクトン（珪藻）をもりもり食べ、海水をろ過していくようすを観察しました。

②須波海岸の生き物観察

須波海岸で生き物観察を行いました（写真②）。いくつビンゴが完成したかな？

③須波の海のプランクトン観察

協力してバケツで海水を汲み、フィルターでこして、プランクトンをとりました。さっそく、とれたプランクトンを一人ずつ顕微鏡で観察しました（写真③）。

<ふいかえり>

ふりかえりの一環として、子供たちの自然に対する思いを、「なにかできることひとつ宣言！」としてまとめました。



写真① パックテストの様子



写真② 海岸の生き物観察

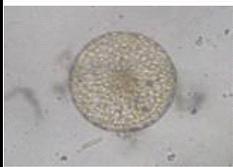
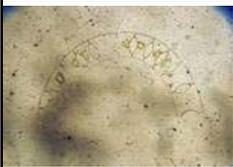
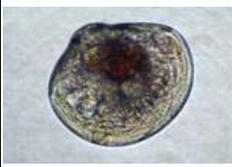
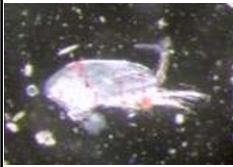


写真③ プランクトン観察

須波海岸で観察された生き物たち

フジツボのなかま	ヒザラガイのなかま	ヒライソガニ	カメノテ	スガイ
				
マガキ	ウノアシ	カラマツガイ	イボニシ	アラレタマキビ
				
タマキビ	インダタミ	カサガイのなかま	ハゼのなかま	ゴカイのなかま
				
あさり	イソギンチャクのなかま	ナマコのなかま	海藻(かいそう)のなかま	
				

顕微鏡で観察した生き物たち

植物プランクトン (スケルトナマ)	植物プランクトン (ゴノディカス)	植物プランクトン	二枚貝の幼生
			
クラゲのなかま	動物プランクトン	動物プランクトン	ヤムシのなかま
			
ゴカイの幼生	甲殻類の幼生	カサゴ(魚)の稚魚	カタクチイワシ(魚)の卵
			